

平成21年度電子情報通信学会東海支部卒業研究発表会報告書

平成22年3月9日（火）に名古屋工業大学にて卒業研究発表会が開催されたので報告する。本発表会は資料によれば第7回目の開催であり、昨年東海支部の正式行事となつてから2回目の開催となる。今回は東海支部主催で IEEE 名古屋支部に協賛をいただいた。本発表会の目的は研究を始めて間もない学生に発表の機会を設けると共に議論交流の場を提供することであり、東海地区の大学および高等専門学校専攻科における電気、電子、情報分野の卒業予定者を対象としている。今年度は口頭発表57件、ポスター発表23件の計80件の発表があった。参加者は109名で、大まかには昨年度（会場：豊橋技術科学大学）と同程度の規模の開催となった。

口頭発表では総じて十分に事前準備・練習されているしっかりとした発表がほとんどであった。しかし後述のように相互投票の仕組みを導入したが、聴講学生からの質問はあまりなく、学生同士の議論とまでは発展していない印象であった。これに対しポスター発表では教員、学生を問わず熱心な議論が展開され、活発な意見交換が行われている様子であった。

今年度の特徴としては、口頭発表希望が多くそれをそのまま収容したため、3セッション並列のプログラムとなったことである。そのため口頭発表の機会の提供は十分満足させることができたものの、座長、採点者の確保に多少労を要した。参加者も部屋ごとに分かれてしまうため、3並列は多すぎたかもしれない。発表分野としては情報系がやや多かった。また残念なことに今年度は高専からの発表はいただけなかった。幅広い分野の発表をいただくと本会がより活発になると思われる。別の課題として懇親会参加者が挙げられた。当日は悪天候でありその影響もあるかもしれないが、自分の発表セッションが終わると帰る学生が特に口頭発表者に多く、懇親会は想定よりも参加者が少なかった。しかし懇親会自体は盛況に開催された。

このように今年度の卒業研究発表会も盛況に開催されたが、これも支部長の平田富夫先生（名大）、東海支部関係者各位、昨年度世話役の上原秀幸先生（豊橋技術科学大学）、座長採点をいただいた皆様の多大なるご支援・ご協力のおかげである。最後になるがこの場をお借りして心より御礼を申し上げる。

学生会世話役・平成21年度会場世話人
名古屋工業大学 岡本英二

● 発表件数

口頭発表 57 件, ポスター発表 23 件, 計 80 件

内訳: 名城大学 34 件, 名古屋工業大学 20 件, 三重大学 8 件, 豊橋技術科学大学 5 件,
名古屋大学 5 件, 静岡大学 4 件, 岐阜大学 3 件, 中部大学 1 件

● 卒業研究発表賞

・口頭発表部門

最優秀賞: 鈴木登季夫 (名古屋工業大学)

優秀賞: 堀 弘樹 (名古屋工業大学), 植村将太 (名古屋工業大学),
君島秋人 (豊橋技術科学大学), 村林 翔 (名城大学), 加藤千恵 (名城大学)

・ポスター発表部門

最優秀賞: 松岡那樹 (豊橋技術科学大学)

優秀賞: 清水誠也 (名古屋工業大学), 富田真宏 (豊橋技術科学大学)

・副賞として, 最優秀発表者には商品券 5,000 円, 優秀発表者には 3,000 円授与.

・選考方法

・基本的に昨年度を踏襲した.

・口頭発表部門: 各セッションで座長 1 名と採点者 2 名, 計 3 名の教員によりプレゼン
5 点+研究理解 5 点の 10 点満点で採点. 各セッションで 1 名を優秀賞推薦していた
だく. また発表学生により自分の発表セッションの自分以外, 発表以外のセッション
から 1 名ずつ推薦してもらう. そして集計により教員の推薦数を中心にソートし, 選
考委員会で審議の上, 最優秀賞 1 名, 優秀賞 5 名を決定した.

・ポスター発表部門: 参加者全員により優秀賞推薦をいただく. 教員は 3 名, 学生は 2
名の推薦を投票によりいただき, 集計により教員の推薦数を中心にソートし, 選考委
員会で審議の上, 最優秀賞 1 名, 優秀賞 2 名を決定した.

・選考委員会は, 支部長, 幹事, 会場世話人で構成された.

● 参加人数

発表学生数 79 名 (1 件キャンセル). 内, 信学会会員 14 名, 非会員 65 名.

聴講学生 5 名, 内, 信学会会員 1 名, 非会員 4 名.

教員 25 名

計 109 名

懇親会: 教員 12 名, 学生 31 名, 学生スタッフ 6 名.